

平成28年11月24日
大洲河川国道事務所

愛媛大学生と協働で 南いよ風景かいどうイベントPRポスターを製作します ～更なる活性化や交流人口の増加を目指して～

南いよ風景かいどう^{※1}の更なる活性化や交流人口の増加を目指して、愛媛大学生を招き、南いよ風景かいどう協議会^{※1}を開催します。協議会では、南いよ風景かいどうイベントPRポスターの製作に向けて、愛媛大学生からキャッチフレーズを提案してもらいます。

日 時:平成28年11月29日(火) 15:00～17:00
会 場:道の駅 津島やすらぎの里 大ホール (別紙3参照)
プログラム:別紙1参照
参加予定者:別紙2参照

※1. 別紙4参照

※2. 当日は取材可能です。取材希望がございましたら、下記問い合わせ先まで事前にご連絡をお願いします。

※3. 南いよ風景かいどうの概要等は、大洲河川国道事務所ホームページに掲載しています。<URL <http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/michi/huukeikaido.html>>

南いよ風景かいどう協議会
(事務局:国土交通省大洲河川国道事務所)

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト「NO.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」に該当します。

【問い合わせ先】

愛媛大学 社会共創学部 環境デザイン学科 TEL:089-927-9834
准教授 羽鳥 剛史(はとり つよし)

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 TEL:0893-24-5185(代)
副所長(道路) 石原 弘之(いしはら ひろゆき) (内 205)
○計画課長 楠 定晴(くすのき さだはる) (内 261)

○:主な問い合わせ先



平成28年度 南いよ風景かいどう協議会 プログラム

日時:平成28年11月29日(火)15:00~17:00

会場:道の駅 津島やすらぎの里 大ホール

予定時刻	プログラム内容
15:00~15:30	1. 開会挨拶 2. 会長挨拶 3. 参加者自己紹介 4. 協議会規約改正(案)の照会等
15:30~16:40	5. ワークショップを踏まえての状況報告など ・南いよ風景かいどうイベントの参加体験 ・南いよ風景かいどうイベントPRポスターのキャッチフレーズ提案 ・今後のスケジュール 質疑・応答 6. 総括
16:40~17:00	7. 四国地方整備局からの情報提供 質疑・応答 8. 閉会挨拶

参加予定者

○愛媛大学

社会共創学部 環境デザイン学科 准教授 羽鳥 剛史(会長)

工学部 環境建設工学科 助教 白柳 洋俊(副会長)

学生 約10名

○活動団体

愛南町ボランティア連絡会 事務局長 兵頭 朝美

岩松町並み保存会 代表 兵頭 肇

内海名勝会 会長 小島 正俊

NPO法人 段畑を守ろう会 理事 松田 鎮昭

トレッキング・ザ・空海あいなん実行委員会 実行委員長 徳岡 朗

目黒の里ホテル愛好会 会長 岡田春喜

○経済団体

宇和島商工会議所 事務局長

愛南町商工会 事務局長

○行政関係者

愛媛県南予地方局建設部建設企画課 課長

宇和島市産業経済部商工観光課 課長

宇和島市建設部建設課 課長

松野町森の国創生課 課長

松野町建設環境課 課長

鬼北町建設課 課長

愛南町商工観光課 課長

愛南町建設課 課長

国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所 事務所長

※順不同、敬称略

会場案内図



※この地図は国土地理院の地理院地図に加筆したものである。

○南いよ風景かいどう

南いよ風景かいどうは、平成19年11月に日本風景街道[※]に登録されたルートで、宇和海や鬼ヶ城山系を中心とした豊かな自然、南伊予に息づく文化、1000年以上も続く遍路文化で培われたお接待の心など、南予の風土・風景を次世代に継承すること、また、その魅力を全国に紹介し、広く交流人口を高めることを目指して活動しており、その範囲は、国道56号、320号、381号、県道8号線、345号線を中心とした、愛媛県南予地域の1市3町(宇和島市、鬼北町、松野町、愛南町)におよびます。

南いよ風景かいどうHP <URL <http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/michi/huukeikaido.html>>

○南いよ風景かいどう協議会

愛媛県南予地域の住民や経済団体、大学関係者及び道路管理者等で構成した活動主体が協働のもと、南予地域における道路ならびにその沿道や周辺地域を舞台とし、豊かな自然と人の営みを基盤とした、魅力ある歴史、伝統、文化によって彩られた美しい風景を守り、育む取り組み等を実施し、以て、地域活性化や観光振興に寄与することを目的に設立しています。

※日本風景街道とは、国土文化の再興に向けて、文化資源の保存や保護、活用だけでなく、美しい国土景観の形成、地域活性化や観光振興を有機的につなぐものであり、道を舞台に、多様な主体の協働により行われるものです。

また、「地域の資源」と「活動する人たち」、「活動内容」、「活動の場」から構成されるもので、それらを総称して「風景街道」といいます。

日本風景街道HP <URL <http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>>

